



アートのじかん　2025年度活動報告





※とうきょうすくわくプログラム

双葉の園保育園

アートのじかんについて

〇普段の生活と同じように「アートのじかん」もまた、こどもが自分らしくいられることへの 肯定感を持てる、
居心地のよい時間のひとつです。
・こども自らが発見し、考え、試すことを繰り返しながら、思い思いに表現することを楽しむ時間。
・様々な素材に触れて、感覚の幅を広げ、多様な表現方法を組み合わせて遊ぶ時間。
・多様な表現を互いに共有し共感することで、他者を思いやり尊重することにつながっていく時間。
園庭やお部屋で過ごすことと同じように、こどもが『自ら選ぶ主体的な活動の場』となることを目指しています。

〇活動時間
にじ組・ほし組(3歳児)　主に火曜日(月末に1回)
はな組(4歳児)は火曜日(月に3〜4回)
ひかり組(5歳児)は毎週 水曜日

〇活動内容
◆　子どもの興味や遊びなどの聴き取り
↓
◆　活動内容作成（計画を超えた保育、時間となるために）
↓
◆　事前準備（環境設定、サンプル制作、留意点など情報共有 前日18:00〜）
↓
◆　アートのじかん（火曜・水曜　9:30〜11:10・・・）
↓
◆　片付け、掃除（様子を見て、伝え合い11:15頃から・・・）
↓
◆　写真を見ながら活動の振り返り（14:00頃から〜30分程度）
（子どもの発言や発見、制作過程などを共有し、ドキュメンテーションに使う写真や添える言葉を選んだり、
その後の展開される活動や気がついた事柄から次回の活動内容に活かす時間）
↓
◆　ドキュメンテーション作成、当日中に掲示（A3）

２０２５年度活動内容

月	4、5、6月	7、8、9月	10、11、12月	1、2、3月
テーマ	出会い（人・場・モノ）	発見（気づき）	想像・共感	共感・協働
活動の視点	出会いを楽しむ。新しい活動場所で、様々な素材や道具に触れ感触を楽しんだり、ものを作ったりすることを通して、自分の興味や関心に基づく遊びを遊びこむ。（3歳児） 様々な素材に触れたり、ものを作ったりすることを通して、自分の興味や関心に基づく遊びを遊び込む。また、身近な事象（空気や風、光、音など）に気持ちを向けて関わり、表現や活動に取り入れる。（4歳児・5歳児）	素材に触れながら、形や色、水、光、音などの事象の変化に気が付いたり、作ったものなどをきっかけとして友達と遊んだりする関わることを楽しむ。（3歳児） 素材や植物に触れ、様々な事象やその変化に気が付いたり、作ったものなどをきっかけとして友達と遊んだり関わることを楽しむ。また、自分の興味や関心のある活動を繰り返し行い、素材や道具を、自ら選んで用い、試し工夫することを通して表現する。（4歳児・5歳児）	様々な素材や道具に触れ、自然物との関わりを深めることを通して、行為的な遊びと意識的な遊びの双方を楽しむ。（3歳児） 日々の生活の中での体験を通して気がついたり発見したりしたことから、想像力を広げ様々な表現を繰り返し試し、またそれを他者に伝えること（互いの考えや行動を受け止め、認め合うこと、ゲーム性のある遊びやルールを共有する）を楽しむ。（4歳児・5歳児）	自分の作ったものやイメージ、感じたこと、思ったことを友達や保育者に伝えたり、遊び方を自分なりに工夫し一緒に遊ぶ楽しさを味わう。（3歳児） イメージを共有し、意見を出し合ったり、共に描いたり作ったりして、それぞれの好きなこと得意なことを一緒に行う協働的な活動。相互に刺激し合い影響し合い、さらに自分なりに工夫し思い思いの時間を楽しむ。（4歳児・5歳児）
活動の内容	題材設定においては以下のいずれかの要因を含む (1)一人でじっくり向き合える素材。 (2)その素材それぞれの感触や面白さ、またその行為そのものを楽しむ内容。 (3)自分の場所であることの安心感を得られる題材。 ＊風や空気などを使った遊び（膨らませたり、飛ばしたり、吊るしてみたりするもの） ／紙を使った活動（たたむ、かくれる、かける、しく、のせる、やぶく、丸める、折る、立たせる）／えのほん／コラージュ／絵の具を使った活動（フィンガーペインティング、出てきた線や形、その痕跡、デカルコマニー）／ 藍の種まき　土の感触、種から育てる ひかり組（5月）	題材設定においては以下のいずれかの要因を含む (1)素材の使い方を子ども自らが考え発見する。 (2)他の遊びに展開していくような、相互作用のきっかけとなる題材。 （切る、貼る、組み合わせる） (3)開放的な空間を使ったダイナミックな活動につながるような素材や題材。 ＊水遊びと連動した活動（水の上に浮かばせる、せっけん削り、泡作り、色水作り、ぷるぷる） おままごとの材料作り（色画用紙や折り紙、カラーセロハン紙、毛糸、リボンを細かく切る）／スタンピング／ひかりにかざす／トイレットペーパー粘土／あなをあけたりつなげたり／いろのあわのドローイング／植物の色水作り／藍のたたき染め（9月）	題材設定においては以下のいずれかの要因を含む (1)自然の形、偶然できた形から見立てる。 (2)他の遊びに展開していくような材料を作る。（切る、貼る、積み重ねる、組み合わせる） (3)何かを作ったり、ごっこ遊びに発展したり友達と組み合わせたりして様々な遊び方のできる題材。 (4)各クラスのだいちの会やふたば祭と連動する素材や題材。 ＊秋の造形活動（保育園内やお散歩で見つけた、落ち葉やどんぐり、小石、羽、小枝などを使って組み合わせた立体工作／壁飾りやリース） 素材の装飾／葉っぱのラミネート／ふわふわのものや毛糸をつかって／えのほん／リサイクル素材の立体工作	題材設定においては以下のいずれかの要因を含む (1)通常に比べて、扱う素材の大きさや量が必要条件となる内容。 (2)多くのアイディアや発想が必要となる内容で、子どもの興味を持っているテーマから、対話を通して作る遊び。作ったものを使った遊びへの展開→制作→ごっこ遊び→制作など (3)自ら考えた遊びのルールを共有し、さらに新しい遊びを作り出していくような活動。 (4)おたのしみ会と連動する素材や題材。 ＊まわるもようDVDコマ／うごかしてあそぼう ひかりとかげ／かげをつかってあそぼう／おおきなえ・おおきなかみをつかってみよう／ながいかみをつかって／すなやつちであそぼう リサイクル素材の立体工作／ねんどをやいてみよう（焚き火）かなづちでとんとん（木材の工作）
使用する材料や道具	ポリ袋、新聞紙、紙粘土、トイレットペーパー 小さな紙、大きな紙、ダンボール、 ストロー、紙コップ、紙皿、木製マドラー クレヨン、絵の具、筆、パレット、 油性ペンやポスカなどのペン類、 ハサミ、セロハンテープ、でんぷんのり、 ホチキス、ビニールテープ、紙テープ、丸シール スズランテープ、 藍の種、土、ふるい、ジョウロなど	色画用紙、折り紙、カラーセロハン紙、包装紙、 プラスチック段ボール、お花紙、和紙、 トイレットペーパー、リボン、モール、 発泡トレイ、牛乳パック、ペットボトル、 石鹸、シャボン液、絵の具、食紅、寒天、 洗濯のり、油性ペンやポスカなどのペン類、 はさみ、ホチキス、ボンド、でんぷんのり、 穴あけパンチ、穴あけピン、割ピン、クリップ、 筆、パレット、 身の回りにある道具やリサイクル素材など （水遊びやスタンピングなどでも使用） 葉っぱ、金槌、懐中電灯	保育園の園庭やお散歩で見つけた自然素材 （落ち葉や枝、木の実、小石、砂、藍の葉など） 板や角材などの木材、ボンド、ラミネーター、ラミネートフィルム、不織布、裁縫針、布、毛糸、リボン、モール、カラータイ、ビニールテープ、身の回りにあるリサイクル素材（空き箱、ヨーグルトやゼリーなどの空き容器、ペットボトル、ペットボトルキャップ、トイレットペーパー芯、ラップ芯、発泡トレイ、段ボール、包装紙、広告などのチラシ、緩衝材、梱包材）など	身の回りにある道具やリサイクル素材（空き箱、食品容器、透明容器、ペットボトル、ペットボトルキャップ、トイレットペーパー芯、ラップ芯、発泡トレイ、段ボール、包装紙、広告などのチラシ、緩衝材など）布、フェルト、毛糸、リボン、モール、カラータイ、スズランテープ、クリップ、割りピン、針金、ストロー、紙皿、紙コップ、ビニールテープ、ガムテープ、木材、金槌、釘、模造紙、障子紙、画用紙、厚紙、巻段ボール、色画用紙、折り紙、カラーセロハン紙、絵の具、油性ペン、水性ペン、はさみ、ホチキス、ボンド、のり、砂、土、炭、土粘土、紙粘土など

活動の様子（アートのじかんをきっかけに発展したこどもたちの様子と保育者の気づき）

展開例　活動テーマ「出会い・発見」（3歳児クラス）

○5月27日　「いろのしゃぼんだまを作ろう」（泡あそび、色あそび）

ねらいと展開

　前回（4月）のアートのじかんの後半でアゴラで行った泡あそびが盛り上がった。その後チョークを削り色水を作ったりや固形石鹸で泡を作ったり、ストローを使ってぶくぶくしたりしている姿があることを踏まえ、チョークを削った色の粉や絵の具にシャボン液を加え、泡の色水を作ったり吹いてシャボン玉を作ったり描いたりする活動を実施。

　自分の使いたい色を削ったり、混ぜたりして色のついたシャボン液を作り、シャボン玉ができる様子や泡の形を見たり、紙に吹き付けて偶発的にできた模様の形を見たり、それをきっかけとしてイメージを広げ、見立て遊びへと展開していく。そこからさらにスタンピングやクレヨンを使って描くことも考えられる。感覚的な遊びを通して、子どものアイディアから多様な遊びへつながる機会としたい。

活動の様子①
（当日の掲示）



活動の様子（アートのじかんをきっかけに発展したこどもたちの様子と保育者の気づき）

展開例　活動テーマ「出会い・発見」（3歳児クラス）

〇5月27日　「いろのしゃぼんだまを作ろう」

活動の様子②
（当日の掲示）



気づき　チョークを削って色のこなを作るのに、みんな夢中で取り組んだ。色の変化に興味を持つ子が多く、「緑に変わった！」など変化を楽しんでいた。また、少しずつ色を加えてみたり、実験的に試してみる姿もあって成長を感じた。そして、泡あそびは一人でぶくぶくさせる楽しさだけではなく、色をつけていくことでお互いに見せ合うことにつながり、友だちと一緒にやってみる、友だちにやり方を教える、友だちの色と混ぜてみる、などの動きへとつながって、友だちと深く関わりつながっていく4歳児にむかう姿もうかがい知れた。

活動の様子（アートのじかんをきっかけに発展したこどもたちの様子と保育者の気づき）

展開例　活動テーマ「出会い・発見」（3歳児クラス）

○6月24日　「いろ・せん・もよう（フィンガーペインティング）」

ねらいと展開

　前回（5月）以来、テラスで絵の具の活動を楽しんでいることを踏まえて、絵の具を手で触って感じ、その感触を楽しんだり描いたりする活動としていきたい。フィンガーペインティングでは、子どもたちが絵の具に直接触れて心を解放し、自分なりの表現の時間となればと思う。絵の具の感触や色が混ざり変わっていく面白さを感じたり、指で絵の具をなすりつけたりする行為そのものを楽しむことに視点を置きたい。

　また、手の動きや描いた形などを「つるつる」「ぺたぺた」「ぐるぐる」「ぎざぎざ」など言葉にすることや、いろいろなイメージを持って紙の上で描いたものが展開する中で、そのような活動の過程をタイミングを見て画用紙に写しとり、イメージや思いを共有する喜びを味わう時間となればと考えた。

活動の様子①
（当日の掲示）



活動の様子（アートのじかんをきっかけに発展したこどもたちの様子と保育者の気づき）

展開例　活動テーマ「出会い・発見」（3歳児クラス）

○6月24日　「いろ・せん・もよう（フィンガーペインティング）」

活動の様子②
（当日の掲示）



気づき　手に直接絵の具をつけることに対して、全く抵抗のない子が多かった。手を絵の具だらけにしながら、「つるつる」などの感覚を言葉にしていた。
感触遊びに没頭する子もいれば、描く方にすぐ移行する子もいて、それぞれの志向の差異が興味深かった。また抵抗のある子ははじめは筆や
スプーンなどを使って描くことから始まり、やがて手が汚れてきてから感触も楽しめるようになるなど、感触⇄描くは一方向ではなかった。
色の混ざりに興味のある子が多く、前回に引き続き色の変化をひとり黙々と楽しむ姿や、友だち同士の色を混ぜ合う姿も見られた。
アゴラで前回の続きの泡あそびや色水遊びをする子たちは、気候もあってかあそびもダイナミックに変化し、表現も多彩になっていた。

活動の様子（アートのじかんをきっかけに発展したこどもたちの様子と保育者の気づき）

展開例　活動テーマ「出会い・発見」（3歳児クラス）

〇8月26日　「ぺたぺた・ぷるぷる・ぷにゅぷにゅ」

ねらいと展開

　素材の感触を楽しんだり、お部屋や園庭で場を作ってごっこ遊びをしていることを踏まえ、今回は食紅で色をつけた寒天を用い、ごっこ遊びのきっかけとなるような活動を考えた。寒天を指や手のひらで撫でたり、握ってつぶしたりして感触を味わったり、 体につけて冷たさを確かめたりすることで感覚を育む事にもつなげていきたい。また見立てごっこ遊びをしていることから、お水遊びの用具（スプーン、鍋など）を使ってお料理をしたり、カップやお皿などの容器に入れて、お店屋さんなどがはじまったり、友達同士のやりとり場面が見られるかもしれない。水の中に入れてすくい取ったり、透明容器に入れて陽の光にかざしてみたり、違う色を混ぜて新しい色を作ったりして、様々な遊びへのきっかけとしたい。

活動の様子①
（当日の掲示）



活動の様子（アートのじかんをきっかけに発展したこどもたちの様子と保育者の気づき）

展開例　活動テーマ「出会い・発見」（3歳児クラス）

○6月24日　「いろ・せん・もよう（フィンガーペインティング）」

活動の様子②
（当日の掲示）



気づき　寒天という素材そのものを楽しむ姿が多く見られた。絵の具の時にダイナミックに手を浸していた子が、寒天だと少し気にするなど、感じ方の違いが見られ興味深かった。絵の具の時と違って色の混ざり合いがない分、型抜きやストローなどの素材との組み合わせで、見立て遊びへとすぐに移行していく様子があった。またアゴラで寒天をたらいや容器に入れて楽しむ姿が多く見られた。水に漂う寒天のキラキラや透明感が見立て心をくすぐったのではないか。お店屋さんなどごっこ遊びにも発展し、友だち同士のやりとりも多く見られた。